

## 平成31年度 年間指導計画

教科	国語	対象クラス	○ 必修	単位数	3単位
科目	国語総合	2H1・2H2・2F・2A	必修選択		
使用教科書	標準国語総合(第一学習社)				
使用教材	トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 意味から学ぶ常用漢字(第一学習社)				
評価の 観点・方法	定期考査(60%)・漢字の小テスト(20%)・提出物(10%)・学習態度(10%)				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	評論	対比されているものの内容的確にとらえ、整理しながら理解する。	山崎正和「水の東西」	5
	5	古文(随筆) 中間考査 短歌・俳句	随筆の読みを深めていくことにより、自身の生活を振り返り、観察眼を養う。 短歌・俳句の表現方法を理解し、その表現効果を学ぶ。	徒然草「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」 清水へ・手毬唄	8
	6	評論	問いを立て、その問いに分析的に答えていく手法で、物事の仕組みに気づいていく、評論の論法を理解する。	内田樹「人はなぜ仕事をするのか」	8
	7	古文(随筆) 期末考査	随筆の読みを深めていくことにより、当時の美意識に触れる。	徒然草「神無月のころ」	3
	8				
2 学期	9	小説	登場人物の行動や心理、及び彼らの置かれた状況を読み取るとともに、場面の情景を思い描かせる。	芥川龍之介「羅生門」	8
	10	中間考査 古文(歌物語)	歌物語を味わい、初期仮名文学への興味を広げる。	伊勢物語「筒井筒」	7
	11	評論	巨石文明の滅びた跡をたどり、未来への環境倫理問題を意識する。	鷲谷いつみ「イースター島にはなぜ森がないのか」	8
	12	期末考査			
3 学期	1	漢文(漢詩)	漢詩の形式を理解し、訓読のリズムに「詩」としての美しさを味わう。 ・近体詩の法則を学ぶ	杜甫「春望」 王維「送元二使安西」	5
	2	漢文(史伝)	・比較的長い、平易な漢文に慣れ、訓読上の決まりを学ぶ。	十八史略「鶏口牛後」	6

	3	学年末考查			
--	---	-------	--	--	--